

第10回 富士山

第5支部 東邦化成(株)
幹事 磯部 進
平成14年8月31日 快晴

8月31日(土)午前3時に車で東京を出発。中央高速大月インターから河口湖線に入った。リニアモーターカーの鉄橋をくぐり、しばらくするとジグザクの登山道がライトで輝く富士山が大きく視界に入ってきた。快晴だ。5時過ぎに五合目手前の駐車場に到着。乾さんと即、合流できた。今年は去年より5日程遅かったせいか空いていて、五合目まで500m位の手前だった。

今回は目的地が富士山であるため、いつものメンバーは乾さんと私だけになってしまった。せっかく登るにはもったいない人数なので、私は社員の高橋君と息子の大介、そのガールフレンド竹内さんの4人。また乾さんはお知り合いの東京農大に中国から留学している任さんを同行し、計6人で登ることとなった。

それぞれ自己紹介の後、五合目に向かって歩き始めた。程なく五合目に到着、気温約10度。朝食を摂り、トイレを済ませ、5時50分に山頂を目指した。素晴らしいお天気で、丹沢山塊、奥多摩、八ヶ岳、甲斐駒、そして足元に河口湖、山中湖が一望できた。

乾さんは任さんに合わせ、最後尾を歩いていただいたため、私のペースで登ることができた。残念ながら息子は前々日痛めた股関節が不調で本八合目でリタイヤ、竹内さんも付き合っただけで下山した。私は約5時間で到着、全員揃ったのが11時20分頃だったから、幾らも差がなかったことになる。

山頂の山小屋前で一服、ビールを持つ手が凍える位寒かった。風が強いため、お鉢めぐりは断念し、12時頃に下山を開始した。下りも乾さんがしんがりを勤めていただいたので、2時10分頃に五合目に到着できた。前回の丹沢より短い時間だった。下山では高橋君にトラブルが発生し遅れたため、全員揃ったのは15時50分頃だった。ここ迄で東京を出発してから約13時間経過、ちょっとハードですが、日帰りできるのが魅力だ。皆、車のため、楽しみの打上げは後日にし、相変わらずの渋滞の中央道経由で帰路についた。

今回の山行は昨年のプライベートの山行の反省から、1時間早く東京を出発した。しかし、出発時間よりは、時期が遅かったのが効いていて、五合目は空いていた。去年は五合目手前2km位に駐車したのと、六合目へ向かう途中の佐

藤小屋に集合だったため、ロスタイムも多かった。また、酸素ボンベは嵩張るので持って行かなかった。確かに空気は薄い、自分のペースで登ることの方が有効だったと考える。